

Cisco ASR 5000およびASR 5500 TACACSのDoS脆弱性

Medium	アドバイザーID : cisco-sa-20151012-asr	CVE-2015-6334
m	初公開日 : 2015-10-12 22:20	
	バージョン 1.0 : Final	
	CVSSスコア : 5.0	
	回避策 : No workarounds available	
	Cisco バグ ID : CSCuw01984 CSCuw01985	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Ciscoアグリゲーションサービスルータ(ASR)5000およびASR 5500(ASR5K)システムソフトウェアのTACACSプロトコル実装における脆弱性により、認証されていないリモートの攻撃者が、*vpnmgr*プロセスの再起動により部分的なサービス妨害(DoS)状態を引き起こす可能性があります。

この脆弱性は、TACACSパケットヘッダーの不適切な入力検証に起因します。攻撃者は、巧妙に細工されたTACACSパケットをデバイスに送信することで、この脆弱性を不正利用する可能性があります。この不正利用により、攻撃者は巧妙に細工されたTACACSパケットを解析するときに*vpnmgr*プロセスを再起動する可能性があるため、部分的なDoS状態を引き起こす可能性があります。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェアアップデートをリリースしています。この脆弱性を軽減する回避策はありません。このアドバイザーは、次のリンクより確認できます。

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20151012-asr>

該当製品

脆弱性のある製品

Cisco ASR 5000シリーズシステムソフトウェアリリース18.0.0.57828および19.0.M0.61045が稼働しているCisco ASR 5000およびCisco ASR 5500デバイスには脆弱性が存在します。

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.0	初回公開リリース	-	Final	2015年10月12日

利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。